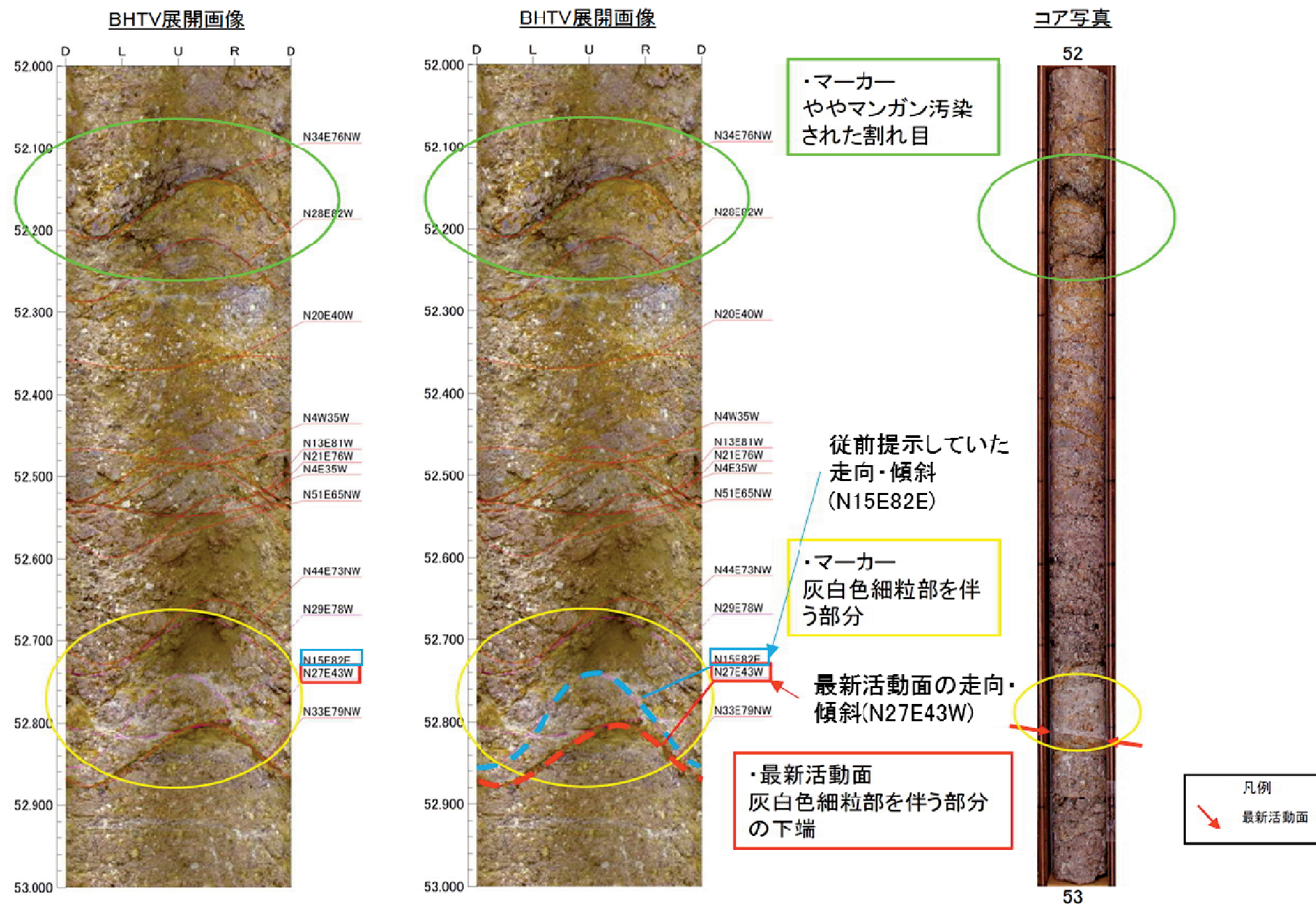


H27-B-1 深度52.72~52.81m 最新活動面の走向・傾斜 (No.39) を再観察結果に基づき変更

- 従前提示していたデータでは、性状一覧表にN15E82Eと記載していたが、BHTV展開画像からの走向・傾斜を読み誤っていたことから以下のとおり走向・傾斜をN15E82E からN27E43Wに変更した。

ボアホールカメラ展開画像との対比結果 (H27-B-1 深度52.72~52.81m)

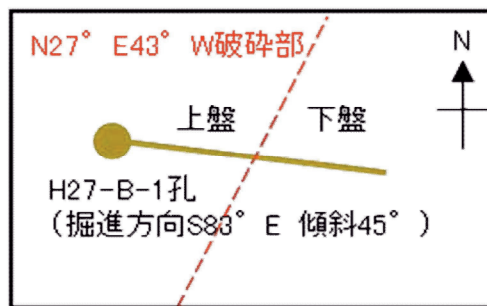
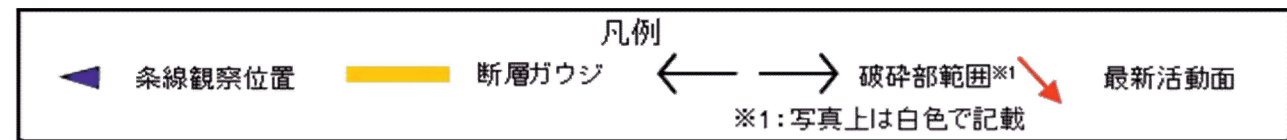
- H27-B-1孔 深度52.72~52.81mの破碎部の最新活動面の走向・傾斜はN27° E43° Wである。



H27-B-1 深度52.72~52.81m 最新活動面の走向・傾斜 (No.39) を変更、それに伴い条線方向 (No.40) を変更

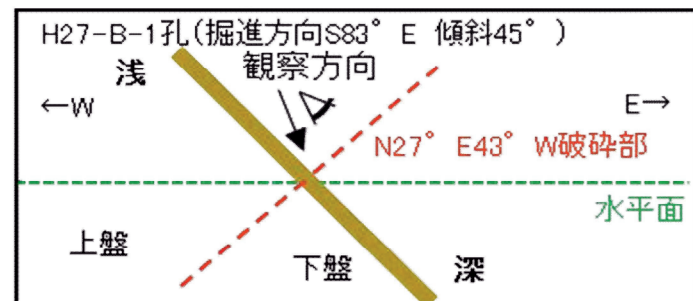
- H27-B-1孔 深度52.81mの断層面の走向・傾斜はN27°E43°Wであり、条線観察は上盤側から実施している。

コア写真



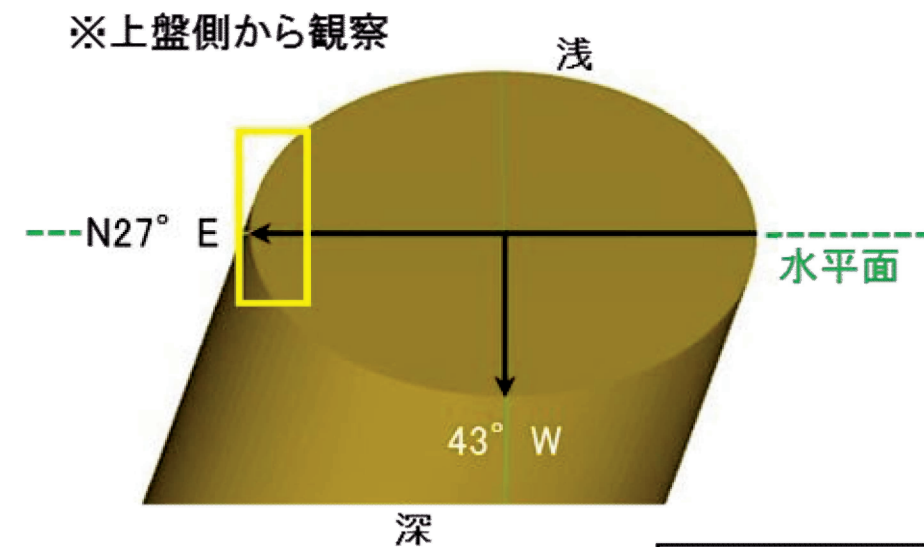
・ボーリングは掘進方向S83° E, 傾斜45° で掘削している。
 ・破碎部の走向・傾斜はN27° E43° Wであり、ボーリングと破碎部の平面的な位置関係は左図のようになる。
 ・破碎部は西傾斜であることから、西側が上盤, 東側が下盤となる。

図1 H27-B-1孔位置平面図(模式図)



・ボーリング(掘進方向S83° E, 傾斜45°)と破碎部(走向・傾斜N27° E43° W)をボーリング孔沿いの断面図で示すと左図のようになる。
 ・ボーリング孔の浅い側が上盤, 深い側が下盤となる。

図2 H27-B-1孔を通る断面図(模式図)



※図2で示した観察方向から、最新活動面に正対して描いた3次元的な図

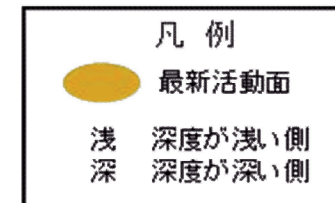


図3 最新活動面と走向・傾斜の関係図

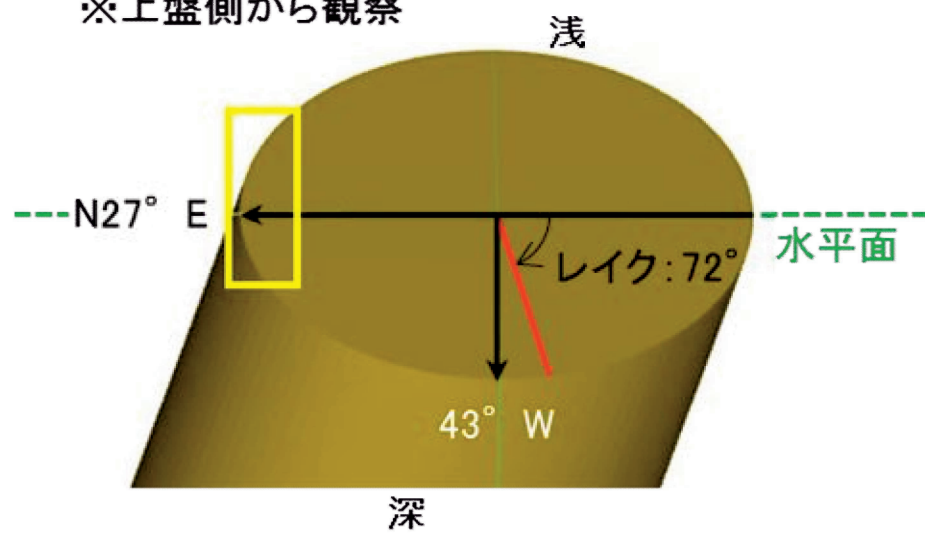
H27-B-1 深度52.72~52.81m 最新活動面の走向・傾斜 (No.39) を変更、それに伴い条線方向 (No.40) を変更

- H27-B-1孔 深度52.81mの断層面の走向・傾斜はN27°E43°Wであり、72Rの条線が認められる。

コア写真



※上盤側から観察



・前頁の図3に、計測した条線値を走向・傾斜等を用いて補正したレイクを赤線で表示している。

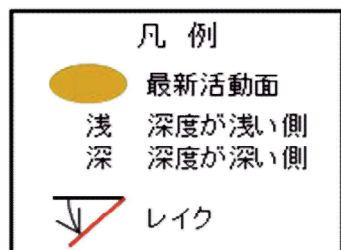
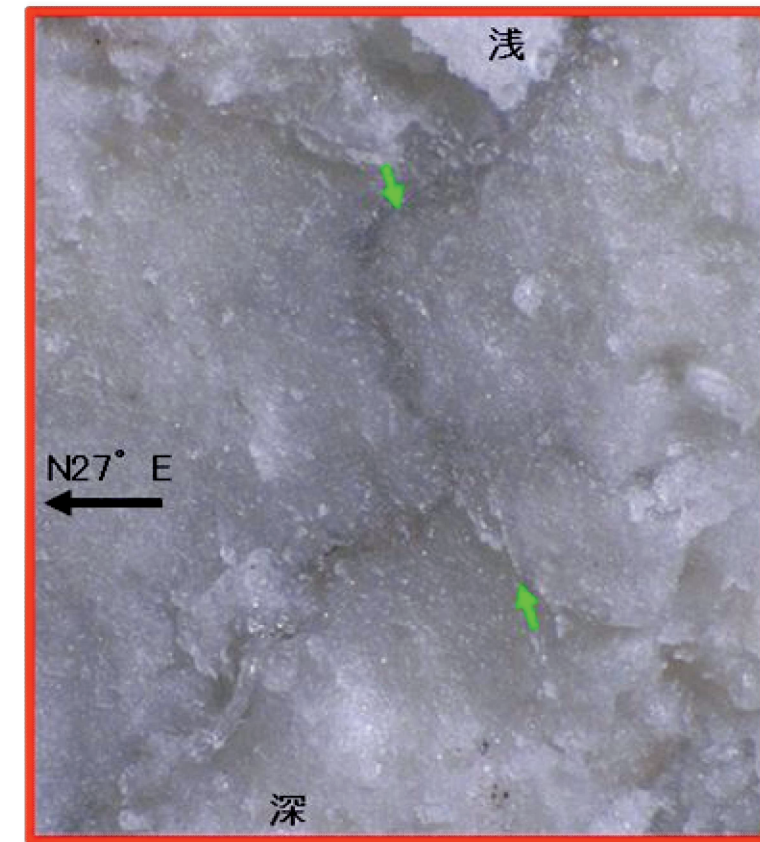


図4 最新活動面と走向・傾斜、条線の関係図



条線観察位置拡大



赤枠内拡大

